

本日の検証について

2024年 6月 24日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

- 2024年度は、東京中部間連系設備の電源開発NWの佐久間東幹線（山線）他増強工事の継続的な工事費の変動状況モニタリングを行う。
- また、東北東京間連系線の東北電力NWの工事費増額についての確認を進めるとともに、今回、新たに東京電力PGより工事費増額の報告があったことから、今後確認を進めていく。

項目				2023年度			2024年度											
				第4四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
東京中部間 連系設備	新佐久間FC	電源開発NW	検証済み (増額内容の確認)															
	新富士変電所	東京電力PG	検証済み (増額内容の確認)	★														
	静岡変電所	中部電力PG	検証済み (増額内容の確認)															
	東清水線	東京電力PG	検証済み (増額内容の確認)	★			今回											
	佐久間東幹線他	電源開発NW	検証済み (継続的に確認)	★			★		★									
東北東京間 連系線	送電線新設工事	東北電力NW	検証済み (増額内容の確認)		★		★	★	★									
	変電設備新設工事	東北電力NW	検証済み (増額内容の確認)		★		★	★	★									
	鉄塔建替工事他	東京電力PG	検証済み						★	適宜確認								

<東北東京間連系線 対象：東北電力NW>

- 23年9月の東北電力NWの大幅な増額の一報を受けて以降、工事費の増額内容等について、以下の4項目について鋭意、確認作業を行ってきた。
 - (A) 送電工事の設計に関する内容の確認とコスト低減に向けた検討
 - (B) 調達プロセスの確認
 - (C) プロジェクト管理体制の確認
 - (D) その他（丸森開閉所新設工事の大幅な減額要因の確認など）
- 本日は、これまでに工事費増額の内容について確認した結果や、検討中のコスト低減策などを踏まえて、概算工事費の見通しを取りまとめたことからご審議いただきたい。

<東北東京間連系線 対象：東京電力PG>

- また、本日は東京電力PGが実施する福島幹線山線No.10鉄塔建替工事の工事費増額について、事業実施主体から説明いただく。

<東京中部間連系設備 対象：電源開発NW>

- 佐久間東幹線（山線）他増強工事における工事費の状況について、これまでに電源開発NWから報告を受けた内容について、その状況をご報告する。

(参考) 広域系統整備計画

第13回コスト等検証小委
(2021年2月) 資料2
をもとに作成

3

北海道本州間連系設備

運用容量：90万W→120万kW (+30万kW)

◆新北本容量：30万kW⇒60万kW

工事完了時期：2027年度末

東北東京間連系線

運用容量：573万W→1,028万kW (+455万kW)

工事完了時期：2027年11月

周波数
50Hz区域

周波数
60Hz区域

北陸

東北

東京

関西

中国

四国

九州

中部

東京中部間連系設備

運用容量：210万W→300万kW (+90万kW)

◆新佐久間容量：30万kW⇒60万kW

工事完了時期：2027年度末

◆東清水FC：30万W⇒90万kW

工事完了時期：2027年度末

- 水力発電所
- 火力発電所
- 原子力発電所
- 変電所
- ⊗ 開閉所
- ▶ 交直変換所

